



かじき

No. 261
昭和52年

2

発行／加治木町
編集／総務課

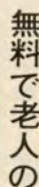
印刷 吉屋印刷有限公司

今日から大人の
仲間入り



どうぞこれを付けて新しい気持で（福祉センター）

■メモ 人口20,894 男/9,929 女/10,965 世帯/6,717 (52年1月1日現在)



健康診査を実施

お年寄りの方々に「病気の予防と早期発見、早期治療」をすすめるため、毎年、無料で健康診査を実施しています。

健康には自信があつても是非こ

の機会に受診しましょう。ただしすでに受診している人は除きます

○期間 3月31日まで

(日曜・祭日は除く)

○種目 一般診査、精密診査

○対象 六十五歳以上

○病气 町内の内科、外科

○受診票 福祉課に準備してあります。

クククククククク

香典返しを寄付

香典お返しのかわりにご寄付をいただきました。厚くお礼申し上げます。

香典返しを寄付

香典お返しのかわりにご寄付を
いただきました。厚くお礼申しあ
げます。

町社会福祉協議会へ

一万円	港町 内村 正吉 (妻キサ)	諏訪 大山 定二 (母スヘキサ)
五万円	西汐入上岡山ミチエ (母ミ子)	今町 汰木 達郎 (父清彦)
二万円	下東木 渋谷 春夫 (父喜次郎)	新富町 安楽 光行 (父藤一郎)
三万円	新開 小原 豊 (父市次)	朝日町 村田 ワカ (夫岩吉)
一万円	萩原 奥村 操 (妹ヨシエ)	萩原 市来 洋子 (母ケサ)
三万円	錦江町 森木 ツヤ (夫重雄)	永原 東悟 (母チヨマツ)
一万円	隈原下 西村 勝 (父藤義)	朝日町 竹内 親男 (妻アキ)
一万円	天神 柳川 初子 (父岡元新一)	町育英奨学資金へ
三万円		萩原 奥村 操 (妹ヨシエ)

町育英奨学資金へ

一万円
萩原 奥村 操(妹ヨシエ)

ヨーロツパ時代

回顧錄

= 14 =

曾木隆輝

昭和十九年の末、借家を焼け出された私は、大使館から四、五百

メールの所にあった七室もある大きな家を借りて住んだ。こどもまた焼け出されるのだが、ドイツ人のお手伝いは、私が出張がちなのをいいことにして、よく物を持ち出すので、解雇してハンガリ人の出稼に來独の女を傭って生活していた。

家が広いので同僚や避難の日本人が、よく食事に来たり泊って行った。毎晩空襲でサイレンと同時に大使館の防空壕まで車を走らせていた。間に合わぬ時は百位位の

所にある某国大使館の防空壕へと
び込んだ。

近所ののお婆ちゃんとうよく一語に
なつた。彼女はいつも小箱を大事に
にもつていたので、中味は何かと
きいて見た。所がこの婦人はあると
大貿易商の未亡人で、その小箱は
永い間かかつて集めたという、名
も知らぬような宝石類をいっぱい
詰めたものだった。この婦人が、
私にこの小箱を大使館の防空壕の
金庫に預つてくれぬか、戦争がす
んでから返してほしい。その代り
この宝石の中でほしいものは何で
も、また、いくつでも差しあげば

すという。

私は生命がどうなるか知れぬのに、こんなものを預けても、お返しする機会がないかも知れぬと断つた。あとできいたら、スイスへ逃げる人に托したらみんな進入してきた兵隊にとられたとのことだつた。こんな風にドイツ国民は、こうして全財産を失つてしまつたのだつた。

二十年の元旦、例によつて大使館では拝賀式があつた。私は前夜の空襲で寝坊して出勤した。御眞影奉安の責任者だった私は、既に館員や一般在留民など整列しているのを見た。

地下室の壕の中の金庫に、御眞影は安置してあったが、暗いし、あわてているので、金庫の錠の数字がどうしても合わず、なかなか

開かない。やつとのことで、御眞影をもち出し、壇上にかかげて「君が代」を整唱して大使のあいさつがなされた。

「ドイツの戦運必ずしも芳しくないし、日本の戦果も思わしくないが、最後の勝利を期待したい」とのことだった。かんたんな祝宴も気勢はあがらなかった。

その中で大使から御真影はもとつと早目に準備するようにと注意を受けたが、私は万一を思つて空襲警報の出ないことを確めて掲げましたとへりくつをのべて弁明した。私たちはこれが最後の正月で、お互いの明日の運はどうなるのか不安ながらも、祖国の運命が何とか開けるようひそかに祈るのだった。

一般篤志寄付

町育英奨学資金へ

二万四

布
越

■一月二十日までのご寄付を掲載いたしました。

在
宅
医



- 6日 平山医院 ②二四六八
11日 玉利病院 ②二二三八
13日 杵岐医院 ②二二二二
20日 池田医院 ②二二二〇
27日 岩崎医院 ③一六六一
■：診療時間は午前九時から
午後五時までが原則です。
■：当日の往診ならびに緊急
以外の受診はご遠慮ください

3月1日から
3月20日まで
固定資産税
課税台帳
閲覧を実施

〔昭和51年度〕

上半期の 財政事情

- * このほど昭和五十一年度の上半期における
- * 町の財政事情が公表されました。
- * 町の台所（財政）がどのようにしてまかな
- * われているか、また、どのような事業で、
- * その事業のためにどれだけの借金（町債）
- * があるかなどについて中間の報告をするも
- * のです。
- * 本紙はその主な部分を要約して掲載しました。
- * 百五十万七千円が国・県などから
- * もらう依存財源です。したがって
- * 加治木町の台所は、自主財源三六
- * 割、依存財源六四割でまかなわれ
- * ていることとなります。（図表1）
- * 税負担一人当り二万一千
- * 二百四十六円（内上半期

上半期（四月から
九月まで）
に五回の補正

昭和五十一年度の当初予算は十
六億三千二百三十万でしたが、四
月から九月までの上半期に五回、
一億四千二百七十五万五千円の補正
を行いました。このため予算総額
は十七億七千三百五十七万五千円
となっています。

上半期における収入と支出の状
況は、次のとおりです。

▼収入済み額
八億五千二百万円（収入率四七・
九割）

▼支出済み額
六億三千四百七十四万二千円（
支出率三五・八割）

三・六割が町独自の財源
あとの六・四割は国・県
からもらう財源

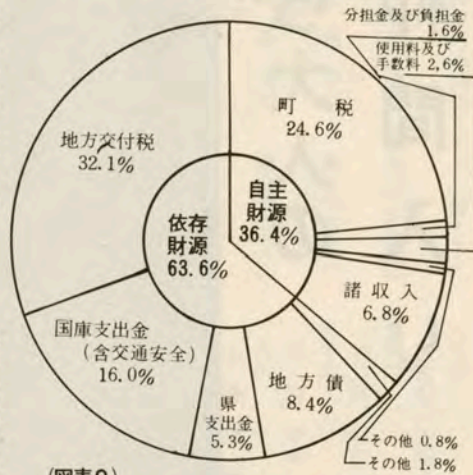
歳入予算のうち、町独自でまか
なえる自主財源は六億四千六百六
万八千円で、残りの十一億二千七

→林道高井田線工事毛上入口



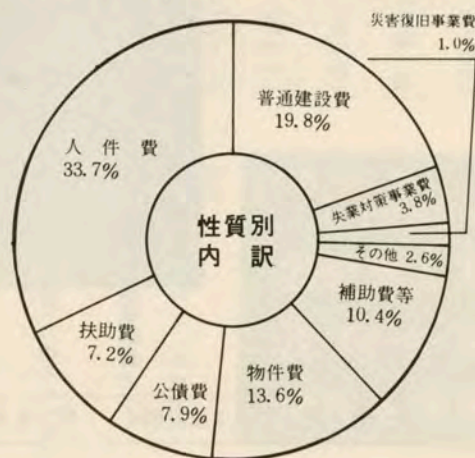
（図表1）

昭和51年度歳入予算内訳（上半期）



（図表2）

昭和51年度歳出予算内訳（上半期）



は一万一千五百七十五円

町民の税負担の状況は、本年度
の予算規模のうち四分一が町税に
よってまかなわれています。年間
の町税の額は四億三千六百四十八
万六千円です。これを町民一人あ
たり、一世帯あたりに計算します
と税負担は次のようになります。

一世帯当り六万六千五百五十七円
一人当り二万一千二百四十六円

また上半期における町税の収入
済額は二億三千七百八十一万円で
これを町民一人あたり、一世帯あ
たりに計算すると次のようになり
ます。

一世帯当り三万六千二百六十二円
一人当り一万一千五百七十五円

歳出については、性質別に大別
すると人件費、物件費、補助費、
公債費、扶助費、普通建設費、失
業対策費、災害復旧費、その他な
どとなっています。（図表2）

普通建設費の内訳は

公営住宅建設（十六戸分）九千
四百万円、木田本通り線六千六百
三十万円、西別府線新設改良三千
万円、林道高井田線二千二十二万
六千円、臨時市町村道整備（鳥越
橋外）三千五百四十万円、高岡公
園六百万円、町道舗装九百九十二
万円、特定交通安全施設四百四十
四万円、排水整備七百六十五万円
加治木港改修四百八十万円、側道
買収三百八十八万五千円、交通安
全施設三百三十六万八千円、小規
模土地改良七百万円、団体営農道
舗装一千四百二十四万九千円、団
体営農道整備一千三百九十五万二
千円など。

町の借金八億六千
九百六十八万六千円

町がいろいろな仕事（事業）を
するために、国などから借りてい
る借金（町債）は、昭和五十年度

末現在で八億百五十六万四千円で
すが、五十一年度中に借り入れる
予定額が一億四千九百六十万円。
返す額が八千四百七十七万八千円あ
ります。これを差引きますと本年
度末の借金現在高は八億六千九百
六十八万六千円となる見込みです。
これは町民一世帯当り十三万二千
六百十四円、一人当り四万二千三
百三十二円の借金となります。

なお本年度の借入れ予定の借金
（町債）の内訳は次のとおりです。

公営住宅三千七百二十万円、木田
本通り線一千三百二十万円、臨時
市町村道整備三千四百四十万円、地
方財源対策三千三百四十万円、林
道五百三十万円、町道舗装四百万
円、高岡公園四百七十万円、港灣
四百五十万円、排水三百七十万円
西別府線五百二十万円、災害復旧
事業四百五十万円、特定交通安全
施設二百六十万円などです。

→整備された排水溝（田中）



昭和五十年年度の決算額は、収入

九百九十七万二千円

を繰越し

昭和五十年年度の決算は、さる十一月に開かれた町議会で認定されましたので、今回の財政事情の公表によりその概要をお知らせします。

昭和50年度一般会計

決算の状況



立派に出来あがった錦江小増築

額が十五億九千四百三十三万二千円、支出額十五億七千四百十六万円で、差引残額一千九百九十七万二千円となり、その内一万円を決算積立金とするので、残り九百九十七万二千円が五十一年度へ繰越しされます。

収入額の内訳は、自主財源（町独自の財源）六億五千五百八十五万三千円で収入の四一・二％となり、あとの五八・八％の九億三千五百五十七万九千円が依存財源（国や県からはいる財源）となります。

自主財源の主なもの

町税三億九千三百八十七万五千円、諸収入九千五百八万三千円、財産収入六千九百八十九万七千円、繰入金三千四百八十六万四千円、手数料三千二百四十四万二千円などであり、ます。

町民1人当りの目的別歳出構成図

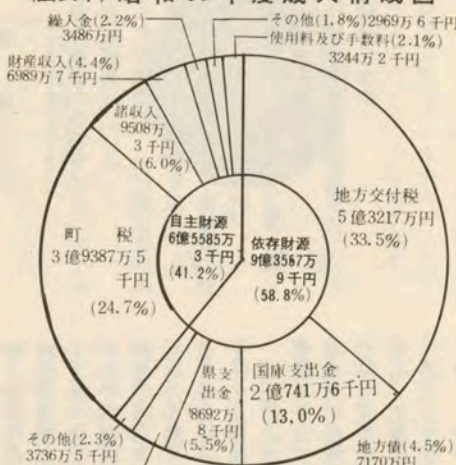
議会費(2.4%) 1,866円	商工費(1.0%) 736円
総務費(19.6%) 14,978円	土木費(11.9%) 9,065円
民生費(17.8%) 13,630円	消防費(4.6%) 3,525円
衛生費(5.3%) 4,075円	教育費(16.2%) 12,362円
労働費(4.5%) 3,480円	災害復旧費(0.7%) 529円
農林水産業費(7.4%) 5,635円	公債費(8.6%) 6,611円
1人当り総額 76,492円 	

そのうち決算の二四・七％が町税で、昭和五十年年度の町税負担額は、一世帯当り六万五千二百一十一円一人当り一万九千六百二十二円となります。（図表1）

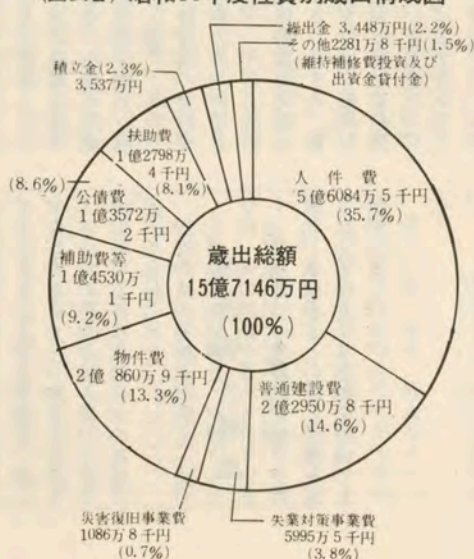
支出の内訳
人件費が支出全体の三五・七％を占めています。次が普通建設費

の四・六％。物件費の一・三・三％などとなっています。（図表2）普通建設費の主なものは次のとおりです。
■補助事業
公営住宅建設（東蔵王団地）三千四百四十九万四千円▽錦江小学校増築二千八百四十五万七千円▽木田本

（図表1）昭和50年度歳入構成図



（図表2）昭和50年度性質別歳出構成図



10 議案を審議

一般会計
補正予算
七千四百六千円

＝12月議会から＝

定例第四回町議会は、昨年の十二月二十日から二十七日までの八日間、町議事堂で開かれ、任期満了に伴う町教育委員の任命や町長はじめ町三役、教育長の給与および町議員の報酬の改正、人事院勧告による町職員給与の改正、これに伴う補正予算など議案一〇件陳情五件を審議しました。

その結果、議案一〇件を原案どおり承認、可決し陳情四件を採択一件を継続審査としました。

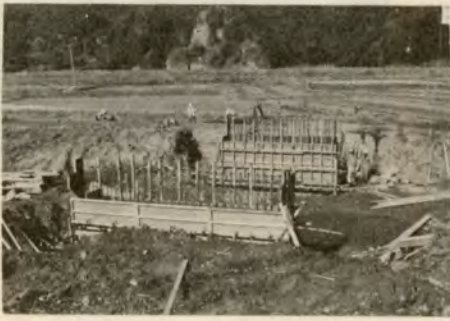
町長や議員などの給与報酬をアップ

町長や助役、収入役、教育長の給与と町議員の報酬の額を引上げようとするもので、町特別職報酬等審議会の答申に基づき、昭和五十一年四月から適用することに関係条例の改正を行いました。改正額は次のとおりです（内は現行なお、町職員の給与関係条例の改正もありました。

▽町長三十八万八千円（三十五万円）
▽助役二十九万五千円（二十六万円）
▽収入役二十七万八千円（二十四万二千円）
▽教育長二十七万八千円（二十四万二千円）
▽議長十三万五千円（十一万五千円）
▽副議長十萬二千円（九萬一千円）
▽常

任委員長九万円（八万円）
▽議員八万三千円（七万三千円）。

予算関係



→橋梁建設の鳥越橋工事

今回の一般会計補正予算は、町特別職の給与や議員報酬の改正、人事院勧告による職員給与の改正を含む七千四百六千円が追加され、予算総額は十八億五千六百七十八万四千円となりました。

なお、このほか次のようなものが予算補正されました。

畜産業費百八十二万九千円（緊急粗飼料増産総合対策補助など）
▽道路維持費二百七万円（工事請負費など）
▽橋梁新設改良費二百五十五万九千円（鳥越橋など）
▽道路橋梁災害復旧費四百七十六万五千円（布越・本土ヶ原線ほか）
▽農業用施設災害復旧費二百四十一万四千円（工事請負費ほか）

町教育委員に

能瀬英次氏を任命

任期満了に伴う町教育委員（教育長）に能瀬英次氏（五九）諏訪町を任命することに同意しました。

陳情

■県内業者の指導育成についての陳情を採択。
■市町村図書館、公民館図書部の振興についての陳情を採択。
■交通会館建設に伴う建築費の助成についての陳情を採択。
■昭和五十二年教育予算についての陳情を継続審査。
■柁城小学校体育館建設についての陳情を採択。

◆農業委員会だより◆

農地転用は

許可申請を

植林の時期になりまし
た。農地
に植林をさ
れる場合は
必ず農地転
用の許可を
受けましょ
う。

□農地を転
用する場合
の手続
農地法第
四・五
条の手続
を
する場合は
次に掲げる
事項を記載
した申請を、農業委員会を経由して
都道府県知事に提出しなければなら
ない。

- ①届出者の氏名、住所及び職業
- ②土地の所在、地番、地目及び面積
- ③転用の事由及び時期
- 添付書類として次の書類を出す
- ④土地の登記簿謄本、土地の位置を示す案内図、断面図、地目、隣接者の同意書（各二通）
- ⑤その土地につき賃貸借の契約がある場合には、解約のあったことを証する書面。

以上のような関係書類を完備し、農業委員会に提出されますと、農業委員会が現地調査を行い、転用して差し支えない場合は意見書を整備し、知事に送付いたします。

許可になるまでは二か月から三か月ぐらいかかりますので、申請

は早目にされるようお願いいたし
ます。

○問：所有者が死亡した農地を山林転用等にする場合の手続きのしかたについて教えてください。

答：農地を農地以外のものにする場合には、農地法第四条の規定により知事の許可が必要ですが、前にのべたとおりであります。所有者が死亡している場合には、原則として誰かに相続登記して手続をするのが原則であります。

相続に期間がかかる、あるいは家族構成が複雑である場合等、困難な事由があれば相続者に関する戸籍を添付して申請することが出来る。それには相続人の過半数の同意書を添えて申請することが必要であります。

◎土づくり運動を

進めましょう。

化学肥料の普及や労力不足などから近年地力の低下が問題になっております。立派な農地は一朝一夕にはできません。親から子へと土づくりの努力が積み重ねられてはじめて立派な農業経営の基盤ができると思えます。

現在中央の各都道府県に「土づくり運動推進協議会」が設けられ、官民一体の運動が進められています。農用地への堆肥や稲ワラの還元、畜産農家との間に連携を図り地力を保全する運動を地域でも展開しましょう。

話 題 あれこれ

福元時計店を

通産省が表彰

通産省が行っている需給流通統計調査に、町内の福元時計店が永年「時計部門」の調査に協力し、優秀であったため通産省大臣の表彰が決まり、一月十二日町長室において福元武美さん(三〇)に表彰状が伝達されました。

この調査は、国の産業の実態を把握するため事業所を定めて、毎月の商品の販売額などをくわしく調査するもので、今回でこの部門の調査が終わることになり、このご協力に感謝し表彰されたものです。



岩元さんら三人入選

町の未来像論文募集

町がさきに実施した、論文募集の入選者がこのほど決まり、一月十二日町長室で入選者三人に記念品と賞状が贈られました。

これは加治木町が将来どのような町を築いていったらよいのかという「未来像」について論文を町民の皆さんから広く募集したものです。入選された内容は町が現在計画作業している行政計画に活用されることになります。

入選者は次の方々です

- 一席 該当なし
- 二席 岩元千年(日木山黒川)
- 三席 二見喜雄(竹下)
- 三席 扇園新助(上木田)

応募された皆さんにはほんとうにありがとうございました。本紙をもって発表にかえさせていただきます。



犬・ネコ・サルは

大の仲よし一家

本来、犬、ネコ、サルはあまり仲のよい動物ではありませんが、町内錦江町の国鉄マン徳永一男さん(五〇)一家が飼っている犬、ネコ、サルは大の仲よしトリオ。家族の一員として寝食を共にし、散歩もいっしょ。近所の人達を感心させている。

三匹が散歩するときは、まず犬の背にサルが乗り次にネコもまねしてピョンと飛び乗る。また一日一回はサルがネコと犬のノミをとる、ネコは犬のしつ尾でたまをとるなどして世話やきは人間さま以上にサルは晩酌が好きで、夜は一男さんのだれやめの手もする。頭にタオルをかぶせておはら節を歌うとピョンピョンと踊り、何んともコッケイで一家の人気者。



県催しに四人入賞

喜びにわく錦江小

錦江小学校では昨年行われた、県主催のいろいろな催しに参加。それぞれに入賞し優秀な成績をおさめて学校内は喜びがいっぱい。児童をはじめ先生たちの学習意欲を盛り上げました。

入賞者は次のとおりです。

- 第24回県理科研究記録展
県議長賞：神宮真奈美(四年)
- 特選：鳥飼 貴之(五年)
- 第19回県作文コンクール
特選：樋口よう子(一年)
- 第3回県少年スポーツ大会
優り高とび 勝：和田 光子(六年)
- 第27回県学校図書館コンクール
入賞：錦江小学校

理科・作文は県下でもむづかし、これに三人もの入賞者がでたことで学校は大変喜んでます。



初の大こ揚げ大会

参加者二百五十人

晴天に恵まれた新春を迎え、何んとなく大空に羽ばたき、かけめぐりたいー一月六日、町では初めてのたこ揚げ大会が町教育委員会、町子連(瀬之口三夫会長)の共催で開かれました。

町営グラウンドには、小中学生をはじめ一般ら約二百五十人が集まり、手づくりのたこで競技。ヤッコだこにゲラだこ、三角だこに四角だこそれぞれの形をした、たこは一本の細い糸にあやつられきれいな空気を腹いっぱい受けて大空へ飛んだ。子供たちは満足そうでした。

成績は次のとおりです

- 小学Ⅱ一年 ①渡辺謙一 ②米倉アユミ ③吉野香子Ⅱ二年 ①緒方明治 ②日高正弘 ③白浜論Ⅲ三年 ①稲留利行 ②上村ノリ子 ③西村卓郎Ⅳ四年 ①児玉隆 ②渡辺文男 ③重留正一Ⅴ五年 ①西正智 ②木村アケミ ③稲留義孝Ⅵ六年 ①加治屋雅人 ②豊留義弘 中学Ⅱ一年 ①松尾隆 ②松葉瀬裕Ⅲ二・三年 ①新名謙二 ②日高博司 ③向江安久 アイデア賞Ⅱ ①西正智 ②下浦木学 ③池田尚文

成人の日

今日から立派な大人です

町内282人が新成人

記念植樹する池上くんと大迫さん



曇り空にバツト花開いたような晴れ着姿に、ファッションショーを思わせる一成人の日の十五日、今年も町内二百八十二人（男百二十八人、女百六十二人）の新成人者

→ 華やかな成人式会場



を祝う式典が町福祉センターホールで行われました。
この日はあいにくの曇り日、しかし会場は、いつもながらの晴れ着姿。特に今年は柁城、錦江校区婦人会の手で生けられた生け花がはなを添え、会場内は華やかさがいっぱい。厳しさのぬけきらない不況の中、高度成長とともに育ってきた若者たちは満足そうに感じられました。
式には、成人者の半数以上が参加、華やかで厳しゅうな中に能瀬町教育長の式辞のあと、東町長が「いよいよ今日から成人になられました皆さん、これからますます

まず努力して知性をみがき、身体を鍛練し、現代を生きる人間としての主体性を確立し、もの事を冷静に考え正しく判断し、無責任な煽動に迷わされず常に自己の行動に責任をもつ立派な日本人、立派な社会人になってください」とあいさつ。榎園教育委員長代理から成人者代表、末重良子さんに記念品「はたち」の本が贈られ、新成人を代表して、脇田満穂さん、岩田順子さんが「責任ある行動で社会の発展に貢献しよう」と決意を述べました。（内容別掲）
式の終了後、一同は福祉センター前に集まり池上研治さん、大迫優子さんの代表で記念樹クロガネモチ一本を植樹。再び会場で記念写真を撮って、茶話会にうつり大人になった門出をお互いに祝い合いました。

→ 記念品を受ける末重良子さん



昭和五十三年から

成人式は洋服で

社会教育委員の会議で提唱

今年も本町のみならず、各地

の成人式で女子成人者の豪華な晴れ着姿が話題になりました。

年々エスカレートする一方このような晴れ着姿の成人式は、もはや看過できない状態にあるのではなからうかという声が本町でもこの二、三年多くなっています。

ましたが、去る十二月十四日に開かれました加治木町社会教育委員の会議で、昭和五十三年の成人式からはもっと気軽に簡素化された洋服での参加を強く呼びかけ、内容をさらに重視した式にすべきであるとの方針が打ち出されました。

教育委員会でもこの方針にそって、式の改善に一層の努力をしていきますので、とくに来年成人を迎えられるみなさんとそのご両親には以上の趣意をこころよくご理解のうえ、ご協力いただきしたいと思います。

おとなになったことを自覚しみずから生き抜こうとする青年を祝いはげますという趣旨で設けられた成人の日の行事も来年で三十年目を迎えます。これを機会に原点に立ちかえり、町民一体となつてより充実した激励の行事にしようではありませんか。

か。

また、この成人式の服装の問題は単にそれだけにとどまらず「私たちの町を明るく住みよい町に」をモットーとして全県的に展開されています新生活運動、簡素化運動の大きな基盤ともなるものです。

私たちは日常の生活をしずかにふりかえるとき、見栄や体裁にこだわらず、真心の伴わない形式的な社交儀礼を多く重ねていることに気づくでしょう。そういう中からもっと個性的で心豊かな交流を広めようと生れたこの新生活運動は、加治木町でも町民の皆さんのご理解をいただいて、着実な広がりを見せております。

これからも私達の町をもっともっと明るく心豊かな住みよい町にするために、勇気をもって改善すべき点は改善していきたいものです。その意味でも来年の成人式は大きな関心と期待が寄せられることでしょう。他市町の模範となるような式が組み立てられるよう、全町一丸となつてご支援ください。

わたしの抱負

社会や両親に

恥じる事のない

大人になりたい



(南汐入)

岩田 順子

新年おめでとうでございます。
一九七七年新春、私たちはここに成人の日を迎えました。誇りと喜び、そして身のひきしまる思いがいたします。早いものです。生後二十年私たちはあたたかい南国で物質的には恵まれ、まさに温室育ちだった様な気もいたします。その点か、のんびりとしてやや精神力に欠けているようです。
今、成人の仲間入りをするのを機に、自分の一生を考え将来の日本を背負って立つ若者としての自覚を高めなければなりません。昨年来口ソキード事件、不況、インフレを初め政治、経済、文化、道徳のあらゆる分野での深刻な危機

二十歳きれいな心で初選挙

様、よろしくお願いいたします。簡単ではございますが、これ成新成人のあいさつといたします。



(於 里)

協田 満穂

人生における

けじめの日に

したい

を一人一人が、感じないわけにはいかなくなっていきます。こういう情勢の中で、成人式を迎えた私たち、責任の重さと感慨が身体中に満ちあふれてくるようです。
私はいま、将来、国民の健康を担う社会人になるべく学んでいきます。今年は大人の第一歩として、特にこの多面的に「学ぶ」ということを重視した年にしたいと思えます。まず第一歩をどう踏みだすかが、今後の人生がどうかあるか決定するものと思えます。
昨年は、また婦人参政権三十年年でもありました。人口は女性の方が多いため、さらに女性の自覚と努力により社会の発展の為に貢献しなければならぬと思えます。私たちは多くの先輩や仲間へ学び、愛情と連帯をもって真摯に努力することを誓います。
二十年間、いろんな日々がありました。様々な人に出会いました。私たちがここまで成長できたのも社会のみならず両親のおかげだと心から感謝しています。そしてこれらの方々に恥じる事の出来ない大人になりたいと思えます。
私たちは、まだまだ未熟です。どうぞ厳しくお導きくださいます

幼い頃、祝日の一日にすぎなかった成人の日を、今日は自分が迎える、成人になった喜びとその責任からくる不安を感じ、心身ともに引き締まる思いがします。
この式の意義は自覚であり、心あらたに目標をたてることだと思えます。それには反省ということが大切ですが、ぼくは、この成人式を人生におけるけじめの日にしたいのです。きのうまでの生活を振り返ると、誠心誠意むくいなく努力したことは、なかったように思えます。
東大紛争時の安田講堂に「力及ばずして倒れることは辞さないが力尽かさずして倒れることは固く拒否する」という落書きがありました

した。これはやり始めたことは、最後まで最善の努力をするということだと思えます。ですからこの落書きを座右の銘にして、これからの毎日を過ごしたいと考えています。
次に成人の仲間入りすることによって私たちは、権利と義務を与えられたのです。人は権利を主張しがちですが、この二つは表裏一体を成すものであり、義務のない所に権利は存在しません。そして、ぼくたちの若いエネルギーを必要とする社会に應えることによって、成人としての役割と責任を果して行かなければいけないと考えます。若者のエネルギーは不確定であり、未来の夢と希望とを無限に持っているのですから、心に火を燃焼させ、自己の可能性を信じ若さを賭ける。それが若者だと思えます。このエネルギーを今日までぼくたちを育ててきた郷土に還元して、少しでも社会に奉仕できる若人、バイタリティーに富んだ若者になるよう努力していくつもりです。
子どもという殻からぬけ出した今、幾多の難問が待ち構えているかわかりません。でも、自分の殻に閉じこもることなく、いろいろな人と意見を交え、次に来るぼくらの世代へ若さという原動力と、互いに信頼し協調していく心とを

持つて、邁進しようではありませんか。
成人の第一歩を、皆んなといっしょに歩きはじめることができたことを嬉しく思います。

県営住宅江口団地

入居者を募集

現在町内江口団地の西側に建設中の県営住宅江口団地が近く完成いたします。

加治木土木事務所では、三月十日(予定)入居できる同団地の入居者を募集いたします。希望者は早目に申込んでください

○募集戸数 六十四戸

○家賃 (一種団地3DK) 二二、五〇〇円程度

○場所 町内木田一〇〇

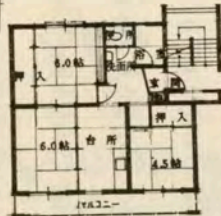
○受付期限 二月二十六日(土)まで

○抽選 二月二十八日(月) PM一時から

○申込み先 加治木土木事務所 (合同庁舎内)

詳しくは土木事務所住宅係へお問合せください。

電話③三二二一内線三四二



町連合婦人会

飲酒運転に

関する実態調査

(婦人会だより)

県の地域婦人会連絡協議会と県交通安全協会婦人部の共催で飲酒運転について、実態調査が行われました。このうち町連合婦人会の分の集計ができましたのでお知らせします。

■飲酒運転について―家庭の主婦として、ありのままに該当するところ、一つ〇印をすることで行ったものです。

1 年齢

年齢	人数
20代	90
30代	282
40代	461
50以上	300

2 世帯主の職業

職業	人数
農業	242
漁業	2
商業	128
公務員	223
会社員	309
木建設	83
その他	146

3 過去一年間に、あなたは車を運転してきたお客に酒を出した事がありますか。

① あり 一七六人
② ない 九五七人

ある―と答えられた場合、お酒を出した理由

① お酒を出さないと「けちな人」だと言われるから 一二二人

② 「家族の無理解」からやむをえず出した 二三人
③ 習慣上どうしても「出さなければ」と思ったから 五五人
④ 少し位ならと思ったから 五十人

⑤ その他 二六人
⑥ お酒を出すようにすすめた人 一七人

⑦ ①あたし 二五人
⑧ 年寄り 七人
⑨ 子供達 九人

⑩ 客自身 一八人

4 過去一年間にあなたの家から、お客が飲酒運転をして帰ったことがありますか。

① あり 一六一人
② ない 九七二人

ある―と答えた人は、お客が飲酒運転をして帰ったあとどう思いましたか。

① 事故を起さないかと心配だった 九二人
② 少ししか飲んでいないから大丈夫だろう 三八人

③ いくらとめても聞かないのだから仕方がない 一九人
④ どんなにしても車のかきをとればよかった 二人

⑤ おそいからつかまえることはなからう 一〇人

5 飲酒運転をしたら飲ませた人も量の如何にかかわらず、事故のあるなしに関係なく処罰されることを知っていますか

① 知っている 一、〇一八人
② 知らない 一五五人

6 飲酒運転で相手が死亡したりけ

がをさせた時は、保険金が支払われると思いますか

① 支払われる 一八九人
② 支払われない 八八四人

7 あなたの家族が最近六カ月に飲酒運転をして帰ってきたことがありますか

① あり 九八人
② ない 一、〇三五人

ある―と答えた人は、それはどこで飲んでましたか

① 冠婚葬祭に行ったとき 一九人
② 友人をたずねて飲んだとき 二三人

③ 会合にいったとき 一七人
④ 飲屋ののりから 一〇人

⑤ 棟上、落成祝等によられて 二一人

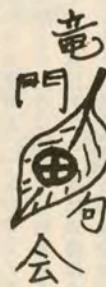
8 今後あなたの家族が飲酒運転をすることについてどう思いますか

① 少し位なら運転にさしつかえないと思う 九人
② 量に関係なく大変危険だから絶対やめてほしい 八八八人

③ 法令に違反するからやめてほしい 八八八人
④ 他人に迷惑をかけることになるのでやめてほしい 一〇〇人

記事の訂正

本紙十二月号(二五九号)(6)ページ、文化財めぐりの記事中小浜氏常氏とあるのは、氏名の誤りでした。お詫びして訂正いたします



⑤ その他 四八人

以上、婦人会の方々の調査の実態です。飲酒運転絶滅へと皆様の意識を高め、飲酒運転する人のなくなりまことを願っております

初風や拾いし貝に汐匂ひ

井之上透山
婦省者の年に三日の懐手
伊丹 司隴

細織る音や寒夜の窓に冴え

文化財めぐり



加治木で一番古い神社で、萩原の裏の奈良木川を渡ったところにある。天児屋根命、武甕槌命、奇主命、姫大神の四神を祀ってありおよそ一千年前に建てられたもので、藤原時代の中期大蔵氏が加治木を統治していた頃、一条天皇の寛弘三年藤原頼忠の息子経平が当地に流され、大蔵太夫良長の掣となつて大蔵氏を相続したので、藤原氏の氏神である奈良の春日大明神の神霊をもつて建てられた。

また、加治木の産地の神でもあったため現在では、太鼓踊りの初踊りもこの神社境内で踊られています。

春日大明神

(春日神社)

宮脇 思川
年賀状ただそれだけの友もあり
横山 江南
つつましく恵みの老いや福茶汲む
中山 待香
元旦や憂きこと胸にそつとおき
田代 俊泉
何せしかわからぬままに除夜の鐘
曾木 柳田
庭石のところを得たり冬日射し
是枝 快春
読み初めとて声に出し虚子句集
松永 愛子
笹鳴やふりかへりみる二三足
鶴田 耕

町消防団出初式

大災予防に一層の努力を

消防功労者67人を表彰



晴れわたった空に放水、見事な水のアーチ

新春恒例の町消防出初め式は、快晴に恵まれた一月十一日午前九時二十分、国分自衛隊音楽隊を先頭に消防団員百六十三人が、町内の目抜き通りを市中パレード。町民に防火を訴えました。

十時から式典にはいり、町長はじめ来賓による団員の服装点検や消防器具などの点検のあと、小型動力ポンプ五台、自動車ポンプ四台による消防ポンプの操法が行われ、きびきびした団員の行動に盛大な拍手がおくられました。

つづいて動力ポンプ五基と消防車五台が一斉に放水。見事な水のアーチで観覧者の目を楽しませました。

分列行進にうつり整列された団

員を前に東 町長は「いよいよ本年日から新しい年の消防団活動には、いつていただくこととなります。本年は、年のはじめから火災が発生し運勢が悪い年のような気がするが、禍を転じて福」となるよう昨年にも増して、より一層火災予防に努力し、そして万が一の場合適確な消火活動に徹してください」と式辞を述べました。

このあと消防関係功労者六十七人の表彰が行われ、来賓祝辞など万歳三唱で式を終わりました。

受賞者は次のとおりです。

県消防協会総裁表彰

▽功績章：蔵満 実、川村吉弘
▽精進章：吉村次男、立山経弘、榎谷貞則、福崎藤男、渡辺周一、

川床利夫（故）岩下美晴
県知事表彰
▽勤続章10年：田中健二、市来原松義、大山一男、堀内喜一郎、西村 勝

県消防協会始良伊佐支部長表彰

大迫豊蔵、犬童正武、小屋敷勝、中園 茂、郡山 貢、杉田秀清、岩穴口治男、大村清美、竹崎久実、山口正人、向江 素、宮内時男、大宮路五男

町長表彰

綿打次男、前村勝男、緒方信吉、池上時伸、森田正人、佐藤 郁

勤続表彰

▽勤続章25年：大吉 操、蓬原春香、有馬清晴、竹下泰蔵、福元義治、安樂 忠、大迫秀清、桐原広志、岩田辰二

▽勤続章20年：榎谷貞則

▽勤続章15年：岩穴口治男、大村清美、山口正人、竹崎久実、小屋敷 勝、中園 茂

▽勤続章10年：岩穴口 修、郡山和弘、今西清春、上別府満幸、久木田政則、今吉 亨

無火災表彰

▽6年：辺川分団
▽1年：中野分団

町長感謝状

大迫豊蔵（故）岩下美晴、桃木野清光、岡村桂子

団長表彰

田島一男、中村正紀、緒方勝也、田代快男、塩屋政秋

町消防後援会会長感謝状

大迫豊蔵、下小牧教満、吉田進

共同募金のご報告

昨年十月から皆さまがたに、ご協力いただきました「共同募金」と年末の「歳末たすけあい募金」の結果がわかりましたのでご報告してお礼いたします。

ご協力ありがとうございました

■共同募金の内訳

戸別募金	八八一、四七〇円
個人大口募金	六三、四〇〇円
法人募金	一二九、〇〇〇円
職域募金	八、六一三円
その他	一〇、五九三円
合計	一、〇九三、〇七六円

以上県共同募金会へ納入いたしました。

■歳末たすけあい募金

各個人をはじめ、学校の児童、



生徒や職域の方々の暖かい善意ある募金がたくさん寄せられましたとくに鹿児島信用金庫加治木支店ハッピー杉の子会（会員二十七人）の皆さんが、町内の街頭で募金運動を展開、集まったお金は全部歳末たすけあい募金へ寄付されました。

募金総額 三八六、七二五円

このお金は例年生活困難者をはじめ、ねたきり老人、精薄児、身障児の方々に配布されました。

元町助役

岩沢藤夫さん逝去

かねて病氣療養中でありました岩沢藤夫さん（八七）が一月十九日、薬石の効なく逝去されました。

故人は戦後加治木町が疲弊のどん底にあった昭和二十四年三月、町の助役として奉職昭和三十六年四月までの十二年間、本町再建のため目まぐるしい活動をされました。今日の加治木町に残された功績は大きいものがあります。

町民の皆さまと故人の生前のご功績に感謝し、心から御冥福をお祈りいたします。